

新 版

# 弄学校劇集 7

岡 田 陽 編  
落 合 聰 三 郎



# 玉川学校劇集 7

岡 田 陽 編  
落合聰三郎

玉川大学出版部

---

770 (NDC)

---

おかだ あきら  
岡田 陽  
おちあいそうごろう  
落合聰三郎

新版 玉川学校劇集 7

玉川大学出版部 1980

240 pp. 22cm

---

編者との申合せ  
により検印廃止

新版 玉川学校劇集 7

昭和五五年九月一日 第一刷

編者

落合 陽  
おちあい 聰三郎  
おちあい 陽

発行者 小原 哲郎

発行所 玉川大学出版部

東京都町田市玉川学園  
TEL 〇四二七(三三)九一一  
振替 東京 八二六六五  
郵便番号 一九四

印刷・製本 鶴ヶイ・エム・エス  
万一乱丁落丁がありましたらお取替えします

---

(分) 2337 (製) 14056 (出) 4355

日本音楽著作権協会第8007922号許諾済

# 目次

低学年向き

だけどあの子は

岡田 陽

1

よびかけと寸劇を組み合わせ、学級全員出られる劇。低学年の道徳教育として、「なかなかった」「おこらなかつた」「まけなかつた」など心の葛藤を演じてみるのはよい体験ではないか。

カッパのいたずら

対馬 昇

29

カッパって、知っていますか。むかしは、日本のどの川にもいたはずです。健康ちゃんたちの川にもいたのです。いや、今だっているのです。これは、カッパをよびもとし、仲間になることについて、考える劇です。

うさぎの月ロケット

永井鱗太郎

47

中学年向き

雪わたり

金平 正

59

四郎とかん子は雪のキラキラ光っている野原へ散歩に、そこで紺三郎きつねとあう。きつねの幻燈会に招待された二人は信じてきつねのだんごをたべる。宮沢賢治の童話を美しい音楽にのせて展開するほのぼのとした作品。

|           |                        |     |                                                                                                      |
|-----------|------------------------|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| かみなり      | 落合聰三郎                  | 105 | 武と謙一は、ふだんは仲がいいのに、ちよつとしたことで反目し合っている。雨に降りこめられた学校の玄関で顔が合った二人はけんかになるが、きらいなかみなりが鳴って仲直りのきつかけができる。          |
| 高学年向き     |                        |     |                                                                                                      |
| さる酒       | 粉川 光一                  | 119 | 幸福はどこからくるか分らない。貝に足をはさまれた猿を助けたのも太とくり太は、おれいにもらった「さる酒」のお陰で、盗賊団「ふくろう組」を捕えることができた。春、びわこのほとり。のどかで楽しい昔話。    |
| ぬすんだのじゃない | 内山 嘉吉                  | 139 | 金メタルが道に落ちてる。いいもの見つけたと拾おうとする。と、金メタルがひとりでに動く。ハツとしたとたん、周りから子どもたちがワツとはやし立てて飛び出して来る。そんないたずらに、あなたがひっかかったら？ |
| フェアプレーごっこ | 生越 嘉治                  | 175 | うさがかめと競走するなんて、そんな弱い者いじめは許せないと、正義の味方を気どる動物たちの非難がうさぎに集中する。――子供たちに問題を投げかけ、頭と体での回答をせまる、新形式の愉快で深刻なパロディ。   |
| 参加劇       |                        |     |                                                                                                      |
| 白雪姫と七人の小人 | マリス・<br>バーガー<br>福水貴子 訳 | 205 | 低学年の児童を対象にした参加劇。おなじみの童話を教師が演じ、観客の子供達を劇の世界にひきこむ。子供達は積極的に劇に参加し、白雪姫を魔法つかいから助けたりする。新しいタイプの学校劇。           |

# だけどあの子は

〈低学年向き〉

岡田 陽 作

男子おおぜい

女子おおぜい

時 間 25分



出てくるひと(1)

ともだち 大ぜい

おにごっこをする人たち 六人くらい

おしくらまんじゅうをする人たち 六人くらい

ケーキをたべなかった人 ひとり

きゅうしよくをたべる人 ふたり

先生の声

かげえの人 ひとり

わらわなかった人たち 四人くらい

おかあさんの声

おつかいにゆく人 ひとり

おるすばんの人 ひとり

さそいにくる人たち 三人くらい

かびんをわってしまった人 ひとり

こどうぐがかりの人 四人くらい

う た(2)

風は北風 さむい風

演出の手引き

(1) 先生の声、影絵の人、おかあさんの声は大人がやってほしい。ともだちは場所によってだが、三十人以上いた方がいい。つまりかなり大勢の迫力のある群唱が欲しい。クラス全員出てもたりなければ、ともだちの席から前に出て、パートの役をやり、またともだちの席へかえってもよい。

(2) 元気な、表情のあるうた声で。歌詩をはっきりさせてほしい。

雨はつめたい みぞれ雨

だけど

だけど あの子は

まけないぞ

まけないぞ

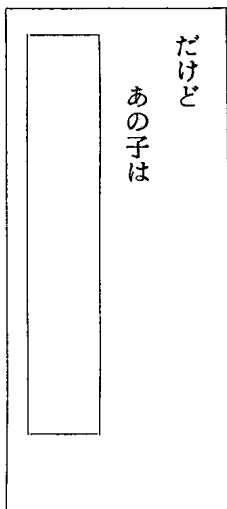
だけど あの子は

つよい子 よい子

ぶたいおくのひなだんに、大ぜいのともだちが、ならんでうたっているところで、まくがあきます。(3) うたがおわると、まん中にプラカードがでます。

だけど

あの子は



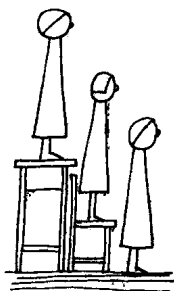
プラカードのひだりはんぶんには、なにかいてありません。

ともだちみんな、それをゆびさしてよみます。

ともだち だけど、あの子は。

(3) ともだちは二段あるいは三段。舞台床、椅子の上。机の上の三段。

机の上に立ったときの安定に気をつけること





あかるい、おにごっこのおんがく。

ぶたいの前の方に、六人ぐらいの人たちがとびだしてきて、おにごっこをしてあそびます。(4)

わーい。

あそびじかんだぞー。

おにごっこするもの、よつといで。

おにごっこするもの、よつといで。

いれて。

ぼくもいれて。

わたしもいれて。

ジャンケン。

ジャンケンポン。

あいでしょ。

ジャンケンポン。

あ、○チャンのおに。

わあ、○チャンのおに。

(4) コトバは、だれが何を言ってもいい。自分達で考えて、つくって言ってもいい。

さ、おいかけるぞ。

にげろ、にげろ。

わーい。

つかまえた。

△チャンのおにだぞ。

わーい。

みんなにげまわります。一チャンは、つかまりそうになって、ころんでしまいます。  
(5)

— いたい。あいた —

— どうしたの、一チャン。

— ああ、いたい。

一チャンはとてもいたそうです。

— どこかけがした？

— あ、ひざこぞうから血が出ている。

— わあ、いたそう。

— 一チャン、だいじょうぶ？

(5) ころんで、いたがるところは舞台前方の客席からよく見えるところで。たおれていると客席から見にくいようなら早く立ってしまう。

一 チャンは、はをくいしばっています。(6)

一 いたそうだなあ。

一 だいじょうぶ？

一 ほけんしつへいって、くすりをつけてもらってくる。(7)

一 チャンあるける？

一 うん。

一 ぼくにつかまっていけよ。

一 ひとりであるけるよ。

一 いいから、つかまれよ。

一 チャンは、りょうがわのともだちのかたにつかまって、ちんばをひきひき、いきます。(8)

一 かわいそう、一チャン。

一 くすりをつけるのって、いたいね。

一 すごく、しみるわね。

一 チャン、なかないかしら。

一 なくかもしれないわね。

(6) 片足ではねたり、足をおさえながら動いたり、一チャンにかなりの変化があった方がいい。

(7) いたそうに見せるとか、フリをするという外面的なことより、「もし、ころんでひざから血がダラダラ出ているとしたら」ということを内面的に想像する。よく感じる。

(8) 耐えている一チャンの姿が客席からよく見えるようにしていく。かくしてしまわないように。

みんないってしまいます。

プラカードのあいてるところに、

なかなかった

という字がです。(9)

プラカードのおんがく。

ともだち　ころんでひざをすりむいて、いたくていたくて、なみだがでそうになった

けど、だけどあの子は、なかなかった。だけどあの子は、がまんした。あの子は

よい子、ぼくらのなかま。小学校の一年生。

## 2

おしくらまんじゅうのおんがく。(10)

ぶたいの前の方に、六人ぐらいの人が出てきます。

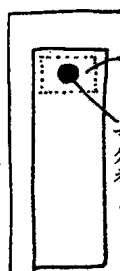
野外しゃせいをしていたみたいです。

——　ああ、さむい、さむい。

——　さむい、さむい。

——　さむいからみんなでくつつこう。

金属板  
マグネット



紙をとめるには、プラカードの  
一部を金属にし、紙にマグネッ  
トをつけておけば早く操作でき  
る。

(9) 木琴、鉄琴、ピアノなどの連  
続音にあわせて、紙をはりつける。  
モタモタしないで一発できまるよう  
に。そのあとしばらくファンファ  
レ風の音楽。ともだちのコトバにか  
ぶってもよい。

(10) かるい感じで、絵をふむまで  
はいつていてよい。

うん、くっつこう。

あったかい。

おふろみたいに、あったかい。

おい、そんなにおすなよ。

おしたっていいよ、おしくらまんじゅうしよう。

よし、おしくらまんじゅうだ。

ちよっとまって、しゃせいどうぐ、おいておこう。

あぶないからね。

みんな、そのへんにしゃせいどうぐをおきます。

さあ、よういはいいぞ。

さあ、こい。

おしくらまんじゅう、おされてなくな。

おしくらまんじゅう、おされてなくな。

みんな、たのしくおしくらまんじゅうをしていると、二チャンが、はみだしたひょうしに、だれかのしゃせいどうぐを、ふんづけてしまいます。(11)

二 あっ、ふんだ。だれかの絵、やぶれちゃったぞ。(12)

(11) 同時に音をいれる。

(12) 前もって、靴のあとがついて、きたなくやぶれている絵をつくっておく。

二 これ、だれの。

三 ぼくのだ、それ。

—— あーらら、三チャンの絵、ふんづけられてクシャクシャ。

—— あーらら、二チャン、わるいな。

—— ふんづけちゃって、わるいな。(13)

二 ごめんね 三チャン

三 いいよ、二チャンのせいじゃないよ。わざとしたんじゃないもの。

—— しゃせいのどうぐ、教室においてこよう。

—— おいてきてから、もういっぺんやろう。

—— そうしよう、そうしよう。

みんな、しゃせいのどうぐをもって、教室へいってしまいます。

三 あーあ、わりあいとうまくかけたのになあ。

二 三チャン、ごめんね。(14)

三 いいよ。もういっぺんかきなおすから。(15)

二 わるいなあ。

三 へいきへいき、さ、いこう。

(13) 形の上でも、みんな一方にたまり、二チャンひとりだけ孤立させてしまう。やぶけた絵をかかえた三チャンもはつきり見える位置に。

(14) とっても悪いと思っている二チャンの心をよく感じて。

(15) まだ残念がっているみたいな調子で。あんまりあっさり平気になっってしまったてはおかしい。

二ちゃん、三ちゃん、いってしまいます。

プラカードのあいているところに、

おこらなかつた

という字がでます。(16)

プラカードのおんがく

ともだち　せつかくかい、だいたいじな絵、ふまれてクシャクシャになったけど、  
あの子は、おこらなかつた。だけどあの子は、がまんした。あの子はよい子、  
ぼくらのなかま、小学校の一年生。

### 3

ぶたいの前の方に、ことうぐがかりが、つくえをもってでます。その上には、  
ーキをのせたさらがあります。(17)

四ちゃんがでてきます。

### 四

(18)　わあ、うまそうなケーキ。おきやくさんがもってきたのかな。それとも、  
おかあさんがかかってきたのかな——うまそうだな。ケーキって、だいすきなんだ、  
ぼく。たべたらいけないかな、いけないな。においをかぐだけならいいかな——

(16)　字の出る曲。あとのファン  
アーレ風の曲とも前と同じでよい。

(17)　皿ではなくて、お菓子屋で菓  
子を入れてくれる紙箱のままでよい。  
大きいショートケーキがゆつ  
りはいる大きいもの。

(18)　このコトバを全部暗記してこ  
の通りいわなければならぬこととは  
ない。うまそうだということ。五つ  
あるということ。お客さんが五人い  
たらケーキも五つなければならぬと  
いうこと。たべないでがまんしよう  
ということ。——それだけのことが  
伝わればよい。長すぎたらカットし  
てよい。

ああ、いいにおい。クリームのとこ、うまそうだな。ちょっとなめてみたいなあ。  
なめちゃいけないな——イチゴ大きいな。一、二、三、四、五。五つもあるな。  
五つなきゃいけないのかな。おきやくさんが五人だったら、五つだな。——やっ  
ぱり、たべたらいけないな——みでると、たべたくなっちゃうから、みるのよそ  
う。そとへいって、あそんでこよう。おきやくさんがかえったら、またきてみよ  
う。

四チャン、いってしまいます。

プラカードのあいているところに、

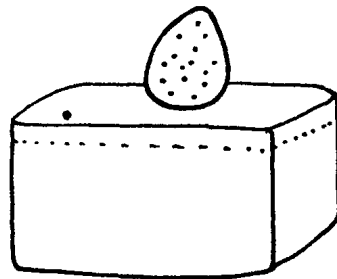
たべなかった

という字が出ます。

ともだち (19) クリームたっぷり、イチゴもたくさん、とってもうまそうなケーキ  
だけど、ただどあの子は、たべなかった。ただどあの子は、がまんした。あの子  
はよい子、ぼくらのなかま、小学校の一年生。

4

プラカードのあいているところが、



イチゴは紙を丸めたり、紙粘土  
や発泡スチロールで作る  
ケーキの部分は発泡スチロール  
でよい

(19) 楽しく、明るく。リズムカル  
に。



にかかります。

こどうぐがかりが、ケーキをひっこめ、かわりにきゅうしよくをつくえの上におきます。つくえのうしろには、いすを二つおきます。男の子と女の子、ハンカチで手をふきふき出てきて、いすにこしかけます。(20)  
マイクをおして、先生の声がきこえてきます。

先生の声 みんな、せきにつきましたか。それでは、いただきます。

ふたり いただきます。

でも、ふたりはたべません。

先生の声 きょうのきゅうしよくには、にんじんがはいっていますね。にんじんが、

きらいな人、ちよっと、手をあげてごらんさい。

ふたり (大きな声で) ハーイ。

先生の声 はい、よろしい。きらいな人もいるようですが、にんじんは、みなさんのからだを、じょうぶにするえいようが、たくさんふくまれていますから、はやくすきになりましょうね。もし、にんじんをたべないと、ビタミンAがたりなくな

(20) 最初からにんじんを見つめて、あんまりうれしくない顔。